

平成28年度大阪府立伯太高等学校学校協議会 第2回議事録

平成28年11月12日(土) 9:30 ~ 11:30

協議会委員参加者

西田 芳正 (大阪府立大学人間社会学部教授)

山野 正広 (和泉市総務部人権・男女参画室長兼人権国際担当課長)

桑原 園子 (PTA会長)

田中 恒子 (地域教育相談員)

- (1) 校長挨拶
- (2) 会長挨拶
- (3) 平成28年度学校経営計画の進捗状況
- (4) 平成29年度使用教科書の選定結果
- (5) 生徒状況など
 - ① 文化祭での生徒の取り組み
 - ② 今年度の生徒の活動の様子
 - ③ 3年生の進路状況
- (6) 本校の教育活動に関する意見交換
- (7) 校長謝辞

※ その後、文化祭での生徒の活動状況を視察した。

[主な質問、意見等]

○は質問、 →は答え、 ●は説明、意見、感想

- 今日は文化祭。保護者以外にも中学生と近隣の住民の方を招待している。
- 学校をもっと盛り上げていくためにPTAとして応援していきたい。また、伯太高校を、もっと宣伝をしたい。
- HPについては業者に委託を行い、リニューアルする。
- 今年度入試から、アドミッションポリシーが導入された。ボーダーは2割。伯太高校では今年、このシステムにより10名の受験生を合格とした。合格させる人数は学校によって異なる。志望動機、高校生活で何をしたいか等、目的意識を見る。テーマは入試の前に提示される。
- 来年度から総合学科がスタートする。現在は普通科であるが、入学後、生徒の興味に合わせて選択制を導入している。来年からは、今までよりも選択の幅を拡大する。
- 伯太高校は、先生からの指導がしやすく、遅刻件数も減少している、と聞いている。
- 生徒の6割以上が、授業は楽しいというアンケート結果がある。
- 伯太高校では数英を重点的に教えている。今年から朝8時35分から、10分間、朝学

習をさせている。意欲のある生徒については、夏の勉強合宿を設けて学習させている。来年は、より多くの生徒が参加できるようにしたいと考えている。また、放課後の講習、個別指導もしている。

- 授業について国語、数学、英語に力を入れる。特に社会人になるためには国語が重要。数学、英語については習熟度別で授業を行う。一方的にクラス別にするのではなく、生徒本人の希望も聞いて実施する。
 - 学校では英語検定、漢字検定、ワープロ検定等の資格を取るよう声をかけている。
 - 文化祭について、今年度は一般開放を行った。中学生や近隣住民を対象としている。昔は一般開放に対して慎重な意見があった。しかし、生徒会の生徒たちが「私たちの学校をもっと見て欲しい。」という意見があつたことや子どもの自主的な企画が増えてきたことなどから、実施に踏みきった。
 - 文化祭以外にも、子どもからの自主企画として、「遊ぼう企画」、ダンスなどを披露する「ハッピーフライデー」企画がある。
 - 部活動は、これまで加入率が35%であったが、今年度は40%に増えた。32団体の他、野球同好会、図書同好会が新しくできた。同好会は一定期間活動するとクラブへ昇格する。
 - 大学で実施されているアクティブラーニング型授業を奨励し、講義形式ではなく、子どもが考え、発言する授業をめざしたい。1時間の授業の中でたとえ5分でもよいから互いに話し合う、アクティブラーニングを取り入れたい。
 - 就職先は大阪府の南地域が多い。この地域で力を發揮する、地域に貢献する人づくり、豊かな人間関係を構築する力を身につけて欲しい。
 - 就職についてビジネスをターゲットにした学習を考えている。また、関西国際空港に近いため、外国人と関わる仕事も増えると考えている。単に観光業だけではなく、外国とのビジネスに対応できる人づくりを行いたい。
 - グローバル化ということで、海外の生徒との交流も行いたい。
- G S (グローバルスタディーズ) とは何か?
- 伯太高校では総合学習のことをいう。各学校によって、名称が異なる。
- 以前、PTAから多くの寄付を行い、舞台を設置した。ハッピーフライデーの舞台のためと記憶しているが、今でも使用しているのか。
- 今でも使用している。
- その他にも、後援会から車椅子を10台、7~8年前に寄付したが今でも使われているのか。
- 今でも使用している。
- テントも買ったが、今はどうか。
- 使用している。学校によってはテントも取りあいと聞いている。本当に助かっている。